

『武家諫忍記』 国法の位置づけ

坂口 真理

はじめに

「大名評判記」については近年研究が進み、諸本の存在が明らかになり、諸本の系統や内容に踏み込んだ検討がなされている⁶⁾。その中でも『武家諫忍記』を検討することは不可欠だと思われる。その理由としては、次の二点が挙げられよう。一点目としては、現段階において一連の「大名評判記」の中で起点になると考えられるため。二点目としては、序・教法・国法を含んでいるためである。序・教法・国法は書物全体の枠組みや方向性を端的に示す内容を含んでいると考えられ、それらを検討することは、書物の書かれた目的を探る上で重要であり、さらにどのように読まれたのかということも明らかにする上で不可欠であると思われる。

このようなことから、本稿では『武家諫忍記』国法を検討したい。具体的には、国法に関する基礎的事項を押さえた上で、国法の系統・国法と『武家諫忍記』本文との関係の一端を明らかにし、『武家諫忍記』の性格に迫ってみたい。

なお、現在確認されている『武家諫忍記』の中で国法を持つことがわかっていいるものは、加賀市立図書館聖藩文庫所蔵本（以下聖藩本）・宮城県立図書館養賢堂文庫所蔵本（以下養賢堂本）・東北大学附属図書館狩野文庫所蔵本（以下狩野本）・東北大学附属図書館所蔵本（以下東北大本）・米沢市立図書館興讓館所蔵本（冊数が六冊のもの・以下興讓館A本）・同所蔵本（冊数が一九冊のもの。以下興讓館B本）・刈谷市立図書館村上文庫所蔵本（以下刈谷本）・岡山大学池田家所蔵本（以下池田家本）・岩国徴古館所蔵本・嶋原市立図書館松平文庫所蔵本・対馬歴史資料館所蔵本（以下対馬本）の計一一本である⁷⁾。このうち、興讓館B本と刈谷本は、日録に「序并國法 一卷」とあるが、国法が現存していない。本稿では、国法の現存が確認されている九本のうち、岩国徴古館所蔵本・嶋原市立図書館松平文庫所蔵本以外の七本について検討する。

一、国法とは

まず、『武家諫忍記』の中で現段階で最も古いと考えられる、聖藩本を例として、『武家諫忍記』国法に関する基礎的事項を確認していこう。

国法とは「日本国中高付方角山海河田畠生物之品々善悪城付并二今高ハ 御當家古高ハ秀吉公之檢地次第委細ニ記之」について、それぞれの国ごとに記したものである。冒頭部分をみてみよう（①以下の番号は引用者による⁸⁾）。

日本国中高付方角山海河田畠生物之品々善悪城付并二今高ハ 御當家古高ハ秀吉公之檢地次第委細ニ記之

五畿内五ヶ國

一、山城、①南北遠ク東西近シ、②西北東ハ山ナリ、④諸生物吉、⑤土地大上々

⑥今高式拾式萬五千二百石

⑦古高式拾壹萬五千二百石

⑧禁裏御臺所料公家方寺社領御蔵入淀領其外入相甚多シ

（四ヶ國略）

東海道八ヶ國

（三ヶ國略）

一、尾張、①四方之國、②西海東ハ山也、③田畠多ク④諸生物吉、⑤土地上也

⑥古高五拾七萬千七百三拾石

⑦今高四拾八萬八千四拾石余

⑧悉ク名護屋付、寺社方少在

（以下略）

右のような形で、「五畿内五ヶ國」の山城国から始まり、以下「東海道十五ヶ國」・「東山道八ヶ國」・「北陸道七ヶ國」・「山陰道八ヶ國」・「山陽道八ヶ國」・「南海道六ヶ國」・「西海道九ヶ國」の順に六八ヶ國、それぞれに関するデータが記されている。

一つの国に関して、「国名、①形・方角、②山海河について、③田畠について、④生物について、⑤土地評価、⑥古高、⑦今高、⑧支配関係」といった項目のデータが記されているのが特徴である（①以下の番号は引用史料中の番号に対応）。ただし、すべての国にすべての項目のデータが記されている訳ではなく、

国によっては欠如している項目もある(表一)。例えば、先に挙げた山城国では③田畠についての項目がない。

次に、具体的に項目ごとのデータの中身を見てみよう。

①形・方角では、「南北遠ク東西近シ」「四方之国」というようにそれぞれの国の形に関する記述がなされている。②山海河については、「西北東ハ山ナリ」「西海東ハ山也」というように、山や海、川の有無やその方角が記される。③田畠についてはその多少が、④生物については、「諸生物吉」というように生物の評価や多少が示されている。⑤土地評価では、その国の土地が上・中・下で評価されている。

⑥古高は、冒頭に「古高ハ秀吉公之検地次第」とあるとおり、慶長三年(一五九八)の検地と数値がほぼ一致しており、豊臣政権による慶長三年の『検地目録』のデータが記されているといえるだろう(表二)。

一方、⑦今高はいつの「御當家」検地のデータが記されているのだろうか。江戸幕府が全国規模で実施し、国ごとのデータがわかるものとしては、正保元年(一六四四)(明暦年中「二六五五〇五八」完成)・元禄九年(一六九六)・天保六年(一八三五)の計三回実施された郷帳・国絵図作成が知られている。これは、全国の収納高を明確に把握する財政上の目的から行われたもので、幕府勘定所が国絵図と国ごとの郷帳を編集し、郡・国ごとの石高の合計が掲げられている。国法に国ごとの石高が記されていることから、今高のデータはこれらの全国規模で行われた調査のいずれかの結果を利用している可能性が考えられる。しかし、データを比較したところ、今高が正保二年(一六四五)のデータとほぼ一致する国もあるが(飛騨・若狭・肥前など)、多くの国でこれらの検地の石高とは大幅に異なるデータであった(表二)では、今高のデータは一体いつのどのようなデータに基づいて記されているのだろうか。これについては、現段階では明らかにできておらず、今後の課題としたい。

⑧支配関係では、主にその国に領地を有している藩名や寺社領の多少などに関する記載がある。記載の特徴としては、豊後国臼杵藩や伊予国小渚藩、越後国新発田藩が記載されていないなど、その国に領地を有しているすべての藩が記載されているわけではないということが挙げられる。また、全体としては石高の高い藩は記載される傾向があるが、必ずしも石高の少ない藩が記載されないわけではないことも指摘できる(表三)。

二、国法の系統

以上の国法に関する基礎的事項を踏まえた上で、国法の系統について見ていきたい。

国法は、国ごとに記されるデータの記載順の違い・土地評価の違いから、〈聖藩本系〉と〈養賢堂本系〉の二系統に分類することができる。(以下、〈聖藩本系〉を代表させて聖藩本を、〈養賢堂本系〉を代表させて養賢堂本を史料として使用する。)

例として、飛騨国の記載を比較してみよう(①以下の番号・傍線は引用者による)。

〈聖藩本系〉

一、飛騨、①東西遠ク南北少近シ、②山川在、③材木多ク田畠少ナシ、④生物不宜、⑤土地中ナリ

⑥古高三萬八千石余

⑦今高三萬八千七百六拾四石

⑧悉ク高山領ナリ

〈養賢堂本系〉

一、飛騨、①東西長南北近、⑤土地中之下、②山川有、③材木多シ、田畠少ナシ、④生物不宜

⑥古高三萬八千石余

⑦今高三萬八千七百六十四石

⑧悉ク高山領

まずデータの記載順に注目すると、飛騨国の場合、〈聖藩本系〉では①②③④⑤⑥⑦⑧という順なのに対して〈養賢堂本系〉では①⑤②③④⑥⑦⑧となっていることがわかる。このように②③⑤のデータの記載順が〈聖藩本系〉と〈養賢堂本系〉で異なるのは、飛騨国だけではない。表一から、系統によって多くの国で②③⑤のデータの記述順が異なっていることがわかる。また、前述した欠如している項目も、系統によって異なる場合がある(山城・駿河・越後など・表一)。

また、右の史料の土地評価の箇所(傍線部分)に注目してもらいたい。〈養賢堂本系〉の土地評価が〈聖藩本系〉より低くなっていることがわかる。飛騨国以外にも、同様の土地評価の傾向(聖藩本系〈養賢堂本系〉の国は一ヶ国(大和・

【表五】

国法○・本文×	国法×・本文○
常陸 宍戸、下館	大和 小泉、柳本、戒全、新庄
美濃 麻田	和泉 陶器
下野 足利	伊勢 菰野、桑名
陸奥 郡山、白石、米沢、三戸	三河 玉縄、西尾
出羽 大野、勝山	遠江 掛川
越前 府中	安房 勝山
越後 本庄	下総 守屋、小弓
丹波 田辺	上総 久留里
備後 三原	常陸 麻生
淡路 酒本	近江 水口、大溝、仁正寺、小玉
筑前 秋月	信濃 須坂、長沼
豊後 村内、質本、佐伯	上野 尾畑、安中、七日市
	下野 茂木
	陸奥 岩城、長岡
	出羽 上山
	越中 富山
	越後 村松、塩澤、新発田、奥坂
	丹波 園部、峰山
	石見 河野
	備中 足附、河辺
	伊予 小渚、北浜
	筑前 福岡
	豊後 木規、府内
	日向 縣、飫肥

※誤記がある場合も聖藩本の記載をそのまま転載した

上表は国法⑧支配関係には記載があるものの本文では取り上げられていない藩と、国法⑧支配関係に記載がないものの本文では取り上げられている藩を示したものである。この表から一見してわかるように、国法⑧支配関係と本文とが連動していない藩が多くあることがわかる。ここから、藩に着目した場合、国法⑧支配関係に記載される藩と

和泉・三河・遠江・信濃・陸奥・越前・因幡・紀伊・豊後・肥後) である。このように、データの記載順・土地評価の二点から見た場合、国法には「聖藩本系」と、「養賢堂本系」の二系統があるといえよう。前者には池田家本、後者には狩野本・東北大本・興讓館A本・対馬本が該当する。なお、各系統の中でも若干の字句の差異はあり、それをまとめたものが表四である。対馬本は養賢堂本と比べて、国の大中小や田畠に関する記述が少ない点で「養賢堂本系」の中でもやや特異な存在であるといえよう。

三、国法と本文の関連性

次に、『武家諫忍記』国法・本文の両者に登場する項目のデータが一致するかどうかを検討することで、『武家諫忍記』国法と本文との関連性の有無を検討していきたい。

まず藩に着目してみよう。前述したように国法⑧支配関係のデータ部分には藩名が記載されているが、その国に領地を持つすべての藩が記載されているわけではなく、また必ずしも石高の大小が記載の有無とは関係していない(表三)では、何が基準となつて国法⑧支配関係に記載される藩が決められているのだろうか。ここで可能性として考えうる、「国法⑧支配関係に記載されている藩は、本文に登場する大名の藩と一致している」という仮説を立てて、国法と本文の関連性の有無を検討してみよう。

本文中に登場する藩にはほぼ関連性がないことが指摘できるだろう。次に着目したいのは土地評価である。土地評価は国法にも本文にも共通して記載されているデータであることから、国法と本文の関連性を見るのに適している。さらに、前述したように、「養賢堂本系」国法では、六八ヶ国中一二ヶ国(大和・和泉・三河・遠江・飛騨・信濃・陸奥・越前・因幡・紀伊・豊後・肥後)の土地評価が、「聖藩本系」国法より低くなつていたので、仮に国法と本文に関連性があるならば、「養賢堂本系」本文に記載されている土地評価も、「聖藩本系」本文に記載された土地評価より低くなると考えられ、各系統ごとに国法と本文の関連性の有無を明らかにすることができよう。

ただし、この場合注意が必要である。なぜなら国法は国ごと、本文は各大名(藩)ごとにデータが記載されているため、国法と本文を単純に比べてその関連性の有無を言うことはできないからである。

そこでまず「聖藩本系」本文と「養賢堂本系」本文に記載された藩ごとの土地評価の比較を行い、その傾向が国法に記載された国ごとの土地評価の傾向と合致するかを順に見ていくことにしたい。

左は「聖藩本系」本文と「養賢堂本系」本文記載の各藩の土地評価を比較し、その傾向ごとにまとめたものである。

- ① 聖藩本系本文「養賢堂本系本文」(国法⑤土地評価と同じ傾向)
 - 陸奥国会津藩・安芸国広島藩・阿波国徳島藩・大和国郡山藩・豊前国小倉藩・加賀国大聖寺藩・肥前国福江藩・播磨国林田藩
 - ② 聖藩本系本文「養賢堂本系本文」(国法⑤土地評価と反対の傾向)
 - 常陸国戸藩・肥後国熊本藩・出羽国米沢藩・美濃国大垣藩・下総国古河藩・肥前国唐津藩・信濃国松本藩・上野国高崎藩・伊勢国鳥羽藩・丹波国綾部藩・近江国小室藩・丹波国山家藩
 - ③ 聖藩本系本文「養賢堂本系本文」
 - 右記以外の諸藩
- 先に明らかにした、「養賢堂本系」国法において土地評価が下がった一二ヶ国(大和・和泉・三河・遠江・飛騨・信濃・陸奥・越前・因幡・紀伊・豊後・肥後)に属する藩には傍線を付したが、国法と本文の土地評価が同様の傾向を示

した藩は陸奥国会津藩・大和国郡山藩しかなく、信濃国松本藩は逆の傾向、その他の一二ヶ国に属する藩はへ聖藩本系へ養賢堂本系へ本文の土地評価が一致していた。このことから、土地評価に着目した場合、国法と本文の土地評価に関連性は見られないといえるだろう。

以上、藩と土地評価という二点から見た場合、『武家諫忍記』国法と本文の関連性はほぼないことがわかった。今後、さらに細かく視点を設定して詰めていく必要があることはいうまでもないが、可能性としては国法と本文の作成時期が異なる、又は国法作成者と本文作成者（これも複数存在している可能性がある）が異なる可能性もあるのではないだろうか。

おわりに

以上、不十分ながら『武家諫忍記』国法を検討してきたが、本稿で明らかになった点をまとめると次のようになる。

- ① 国法の系統は、データの記載順・土地評価で見た場合、現段階では二系統に分類することができる。
- ② 国法のデータ内容は、本文中の記述と連動しているとはいえない。どの段階から国法が二系統にわかれたのか（諸本以外に「原本」が存在するか否か）、今高のデータはいつの時点で収集されたものかなど残された課題は多いが、今後は、未検討の『武家諫忍記』諸本の国法の検討、さらに国法と類似の内容であると思われる「配国之巻」「国郡数量巻」を持つ『武家勸懲記』との比較を行い、さらに『武家諫忍記』国法の性格に迫る必要があるだろう。

【注】

- (1) 『土芥寇讎記』の基礎的研究』(二〇〇四)、『大名評判記』の基礎的研究』(二〇〇六)。
- (2) 『大名評判記』の基礎的研究』(二〇〇六) 二・三頁参照。
- (3) 『郷帳』(福井保執筆)『国史大辞典第五巻』(一九八四)。

【表一】

国名	聖藩		養賢堂		比較 聖藩→養賢堂
	内容	欠如項目	内容	欠如項目	
山城	①②④⑤	③	①②④	③⑤	なし→川有 なし→土地大上々
大和	①②④⑤	③	①⑤②④	③	なし→大国 土地大上々→上々
河内	①②④⑤	③	①⑤②③④		東西ハ山ナリ→東南山也 なし→田畠多 古高24万2000石→24万2800石 今高30万8008石→30万8800石
和泉	①②④⑤	③	①⑤②④	③	土地上々→土地上 古高14万500石→14万510石 今高13万8700石→13万8790石 なし→寺社方
摂津	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
伊賀	①②④⑤	③	①⑤②④	③	なし→古今同
伊勢	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→海 なし→桑名
志摩	①②④	③⑤	①②④	③⑤	今高1万7000石→1万7800石
尾張	①②③④⑤		①②③④⑤		今高48万8040石→48万840石
三河	①②④⑤	③	①②⑤④	③	土地上々→中之上
遠江	①②③④⑤		①②③④⑤		なし→沼 土地中之上→中
駿河	①④	②③⑤	①②⑤④	③	なし→山川沼有 なし→土地上
甲斐	①②⑤④③		①②⑤④③		
伊豆	①②③④⑤		①⑤②③④		なし→小国 古高6万9830石→6万9820石
相模	①②④⑤	③	①⑤②④	③	生物ヨケレ共→なし
武蔵	①②③④⑤		①⑤②③④		
安房	①②④⑤	③	①⑤②④	③	
上総	①②③④⑤		①⑤②③④		生物中抵→中
下総	①②③④⑤		①⑤②③④		今高39万4200石→39万3200石
常陸	①⑤②④	③	①⑤②④	③	
近江	①②③④⑤		①②③⑤④		
美濃	①②③④⑤		①⑤②③④		
飛騨	①②③④⑤		①⑤②③④		
信濃	①③④⑤	②	①⑤③④	②	土地中ノ下→下 なし→材木甚多 なし→名護屋領
上野	①②③④⑤		①⑤②③④		
下野	①⑤③④	②	①⑤③④	②	なし→中ノ国
陸奥	①⑤②③④		①⑤②③④		御蔵入→なし 盛岡→盛
出羽	①②③④⑤		①②③④	⑤	土地下→なし
若狭	①②④⑤	③	①⑤②④	③	
越前	①②④⑤	③	①②⑤④	③	土地中→中之上土地吉
加賀	①②③④⑤		①⑤②③④		金澤付大聖寺→金沢大聖寺
能登	①②⑤④	③	①②⑤④	③	
越中	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
越後	①②④⑤	③	①②④	③⑤	土地下→なし
佐渡	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→船ニテ渡ス
丹波	①②⑤④	③	①②⑤④	③	なし→小国 今高28万370石→28万570石
丹後	①②④⑤	③	①⑤②④	③	なし→小国
但馬	①②④⑤	③	①⑤②④	③	なし→豊岡
因幡	①②④⑤	③	①②⑤④	③	土地中→下
伯耆	①②⑤④	③	①②⑤④	③	生物不吉→生物大形也
出雲	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
石見	①②⑤④	③	①②⑤④	③	
隠岐	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
播磨	①②④⑤	③	①⑤②④	③	なし→上国 土地上々→なし
美作	①②④⑤	③	①⑤②④	③	
備前	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
備中	①②⑤	③④	①②⑤	③④	
備後	①②⑤④	③	①②⑤④	③	
安芸	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→海 古高19万4050石→19万5150石
周防	①②④⑤	③	①②④⑤	③	
長門	①②④⑤	③	①②⑤④	③	
紀伊	①②④⑤	③	①②⑤④	③	大上ノ地ナリ→上国上地也
淡路	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→東西長
阿波	①②④⑤	③	①②⑤④	③	

国名	聖藩		養賢堂		比較 聖藩→養賢堂
	内容	欠如項目	内容	欠如項目	
讃岐	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→中之国 土地上ナリ→土地吉 古高17万1810石→23万6200石 今高23万6200石→25万1800石
伊予	①②③④⑤		①②③④⑤		古高38万1640石→30万7200石 今高38万7200石→38万1640石
土佐	①②④⑤	③	①②④⑤	③	
筑前	①②⑤④	③	①②⑤④	③	
筑後	①②⑤④	③	②①⑤④	③	今山→今上
豊前	①②⑤	③④	①②⑤④	③	なし→土地上 なし→生物不吉
豊後	①②④⑤	③	①②⑤④	③	なし→府内熊本
肥前	①②	③④⑤	①②	③④⑤	
肥後	①②④⑤	③	①②⑤④	③	土地中ノ上→中 富岡→なし
日向	⑤	①②③④⑤		①②③④	なし→懸小肥佐土原、鹿児島
大隅	①②⑤	③④	①②⑤	③④	
薩摩	②④⑤	①③	②⑤④	①③	
壱岐	①	②③④⑤	①④⑤	②③	なし→土地下 なし→生物不吉
對馬	①②④⑤	③	①②⑤④	③	

※①形・方角②山海河③田畠④生物⑤土地評価。
 なお、⑥古高⑦今高⑧支配関係については
 聖藩本・養賢堂本とも同様の記載順のため、省略した。

【表二】

国名	古高	慶長3(1598)	今高	正保2(1645)
山城	22万5200	22万5262	21万5200	21万5982
大和	44万8900	44万8945	41万3000余	45万9380
河内	24万2000余	24万2105	30万8008	26万4952
和泉	14万0500	14万1512	13万8700	15万9326
摂津	35万6070	35万6069	29万900	37万5478
伊賀	記載なし	10万	9万5500	10万540
伊勢	記載なし	56万7105	56万7500	58万5065
志摩	1万7850	1万7854	1万7000余	2万61
尾張	57万1730	57万1737	48万8040余	48万3432
三河	29万7100余	29万715	35万余	35万888
遠江	28万余	25万5160	25万5160	28万696
駿河	15万余	15万	17万2000余	19万1315
甲斐	22万7600	22万7616	24万2000余	24万5298
伊豆	6万9830 (69820)	6万9832	7万9300余	7万9653
相模	19万4200	19万4304	19万4500	22万617
武蔵	66万7500	66万7126	80万余	98万2327
安房	4万5040	4万5045	9万9700余	9万2641
上総	37万8890	37万8892	37万8890	-
下総	39万3000余	39万3255	39万4200	44万4829
常陸	53万余	53万8	75万3600	84万48
近江	77万5390	77万5379	83万2020	83万2122
美濃	54万	54万	58万1523	60万9718
飛騨	3万8000	3万8000	3万8764	3万8764
信濃	40万8450	40万8358	54万7360	54万8600
上野	49万6300	49万6377	46万8000余	51万5215
下野	37万4080	37万4083	46万4000余	56万8733
陸奥	167万2400 余	167万2806	162万9000 余	143万1060
出羽	31万8095	31万8095	87万余	96万5674
若狭	8万5000余	8万5000	8万5090	8万5099
越前	49万1610	49万9411	68万2600余	68万2182
加賀	35万5500	35万5570	44万2500余	42万2957
能登	21万	21万	20万6890	22万5006
越中	38万300	38万298	53万6030	59万2415
越後	39万770	39万770	45万60余	61万1960
佐渡	1万7040	1万7030	2万590	2万4812
丹波	26万3800余	26万3887	28万370余	28万9829
丹後	12万3000	11万784	12万3170	12万3175
但馬	11万4230	11万4235	12万3960	12万9069
因幡	8万8500	8万8500	13万1640	14万9539
伯耆	10万9047	10万947	17万5030	17万254
出雲	18万6650	18万6650	22万3470	25万3597
石見	10万1770	11万1770	13万7370	13万9401
隠岐	4980	4980	1万1800	1万1601
播磨	35万8000余	35万8534	52万1300	56万2291
美作	18万6017	18万6018	22万7700	18万6500
備前	22万1700	22万3762	28万6200	28万200
備中	17万6928	17万6929	22万7800	23万6691
備後	18万6150	18万6150	23万8830	24万8606
安芸	19万4050余	19万4150	25万9380	26万5071
周防	16万7820	16万7820	16万4440	20万2787

国名	古高	慶長3(1598)	今高	正保2(1645)
長門	記載なし	13万660	記載なし	16万6623
紀伊	34万3550	24万3550	39万5240	39万8393
淡路	6万2440	6万2104	6万3620	7万186
阿波	18万3500	18万3500	18万6700	18万6753
讃岐	17万1810	12万6200	23万6200	17万3554
伊予	38万1640	36万6200	38万7200	40万271
土佐	19万8000余	9万8200	22万2620	20万2626
筑前	36万5780	33万5695	52万2500	52万2512
筑後	27万5000余	26万5998	36万6000余	30万2089
豊前	28万余	14万	32万1600	23万1680
豊後	41万8000余	41万8313	41万8300	37万8592
肥前	39万1830	30万9935	56万1400余	56万1437
肥後	34万1200	34万1220	57万2900	57万2980
日向	12万180	12万88	28万1500	28万8589
大隅	17万2000余	17万5057	17万5000	17万828
薩摩	21万3480	28万3482	31万5200	31万5251
壱岐	記載なし	—	1万5980	1万5982
対馬	記載なし	—	1万5980	—
琉球	記載なし	—	記載なし	12万3771

※1 古高・今高の数値は聖藩本による。

※2 慶長3・正保2の数値は『岩波日本史辞典』(1999)
「近世国別石高変遷表」から引用した。

	123	一柳監物源直興	(伊予)北浜	×	3万
	124	酒井日向守源忠能	信濃小室	○	3万
	125	朽木民部少輔源種繼	常陸土浦	○	3万
	126	織田山城守平信尚	大和宇多	○	3万1200
⑭	127	大村因幡守源純長	肥前大村	○	2万7900
	128	新庄隠岐守藤原直時	常陸麻生	×	2万7900 (2万7300)
	129	小出伊勢守藤原吉親	丹波園部	×	2万5000
	130	土岐山城守源頼行	出羽上山	×	2万5000
	131	西尾丹後守源忠照	駿河田中	○	2万5000
	132	木下淡路守豊臣利貞	備中足附	×	2万5000
	133	木下右衛門大夫豊臣俊長	豊後日出	○	3万
	134	遠藤備前守藤原常季	美濃八幡	○	2万3000
	135	小等原土佐守源貞信	美濃高洲	○	2万1700
	136	戸川土佐守藤原正安	備中庭瀬	○	2万2500
	137	松平将監源忠照	豊後府内	×(○)	2万2000
	138	相良遠江守藤原長武	肥後求麻	○	2万1000
	139	土屋民部少輔源利直	上総久留里	×	2万1000
	140	植村右衛門佐源家貞	大和高取	○	2万2000
⑮	141	稲垣信濃守源重祥	三河刈谷	○	2万
	142	織田内記平信久	上野尾畑	×	2万
	143	堀美作守菅原親昌	下野烏山	○	2万
	144	九鬼式部少輔藤原隆季	丹波綾部	○	2万
	145	酒井大学頭源忠朝	出羽(佐澤)	○沢	2万
	146	土方河内守源雄次	出羽窪田	○	2万
	147	岩城伊予守平重隆	出羽亀田	○	2万
	148	三浦志摩守平安次	下野壬生	○	2万
	149	分部伊賀守藤原嘉高	近江大溝	×	2万
	150	宗対馬守平義真	対馬府中	○	2万
	151	松平備前守源隆綱	三河玉縄	×	2万
	152	水野備後守源元綱	上野安中	×	2万
	153	石川若狹守源惣良	伊勢神戸	○	2万
	154	増山兵部少輔藤原	三河西尾	×	2万
⑯	155	丹羽式部少輔源氏定	三河岩村 (美濃)	×→美濃 にあり	1万9000
	156	大関土佐守源増親	下野黒羽	○	1万8000
	157	秋元但馬守藤原喬朝	甲斐郡内	○	1万8000
	158	保科越前守源正景	上野(未定)		1万7000
	159	市橋下総守藤原政信	近江仁正寺	×	1万7000 (1万8000)
	160	桑山修理亮藤原一玄	大和新庄	×	1万6000 (1万3000)
	161	細川豊前守源興隆	下野茂木	×	1万6000
	162	五嶋淡路守平盛勝	肥前五島保良	○	1万5000
	163	内田長十郎藤原 後正衆	下野鹿沼	○	1万5000
	164	松平出雲守源重治	上総佐貫	○	1万5000
	165	堀田備中守紀正俊	下総守屋	×	1万3000
	166	京極主膳正源高通	丹後峰山	×	1万3000
	167	片桐石見守源貞昌	大和小泉	×	1万3500
	168	久留嶋信濃守源通清	豊後森村	○(森)	1万2000
⑰	169	太田原備前守藤原正清	下野大田原	○	1万2400
	170	堀市正藤原包周	玉取		1万2000
	171	土方備中守源雄豊	伊勢菰野	×	1万1000 (2万1000)
	172	小堀備中守政之	近江小玉	×	1万2400
	173	井上筑後守源政清	未定		1万1500
	174	遠山信濃守藤原友貞	美濃苗木	○	1万500
	175	伊藤信濃守藤原長貞	備中川辺	×	1万300
	176	堀肥前守藤原直輝	信濃須坂	×	1万
	177	立花和泉守源種長	筑後今山	○	1万
	178	溝口土佐守源政勝	越後塩澤	×	1万
	179	谷助十郎藤原衛麿	丹波山家	○	1万
	180	加藤内蔵助藤原明友	石見河野	×	1万
	181	一柳宗右衛門源直好	播磨小野	○	1万
	182	佐久間備中守平勝義	信濃長沼	×	1万
	183	牧野新三郎 後号武成	越後與坂	×	1万
	184	織田信濃守平長成	大和柳本	×	1万

⑱	185	織田豊前守平長定	大和戒全	×	1万
	186	酒井備中守源忠解	出羽大山	○(大)	1万
	187	青木甲斐守丹治重兼	摂津豊嶋	○	1万
	188	戸田伊賀守藤原忠治	肥後富岡	○	1万
	189	西郷若狹守源延貞	安房東條	○	1万
	190	建部内匠頭源政長	播磨林田	○	1万
	191	前田右近太夫菅原利豊	上野七日市	×	1万
	192	北条久太郎平氏宗	河内池尻	○	1万
	193	高木主水正源正威	河内丹南	○(南)	1万
	194	池田又八郎源氏 号薰時	播磨新宮	○	1万
	195	山口但馬守多良弘隆	近江水口	×	1万
	196	小出与平次藤原氏 後号有宗	和泉陶器	×	1万
	197	伊丹大隅守藤原勝政	未定		1万
	198	松平佐渡守源良尚	伊勢長嶋	○	1万
	199	板倉内膳正源重矩	未定(三河中嶋)		1万
	200	森川出羽守源重信	下総小弓	×	1万

※聖藩本のデータをもとに作成。括弧内は養賢堂本のデータ

巻番号	大人名	居所	国法記載	本知(石)	
①	1 尾張大納言義直卿	尾張名護屋	○	61万9500	
	2 同中納言光義卿				
	3 紀伊大納言源頼宣卿	紀伊和歌山	○	55万5000	
	4 同常陸守相光貞卿				
	5 水戸中納言源頼房卿	常陸水戸	○	28万	
	6 同姓宰相源光国				
	7 左馬頭源綱重卿			15万	
	8 右馬頭源綱吉卿				
②	9 保科肥後守源正之	陸奥会津	○若松	23万	
	10 松平越後守源光長	越後高田	○	25万5000	
	11 松平越前守源光通	越前福井	○	52万5200	
	12 松平出羽守源直政	出雲松江	○	18万6000	
	13 松平右京大夫源頼重	讃岐高松	○	12万	
	14 松平犬千代丸菅原後号綱利	加賀金沢	○	120万5000	
	15 松平陸奥守藤原忠宗	陸奥仙台	○	62万	
	16 松平大隅守源光久	薩摩鹿児島	○	65万5600	
	17 細川六丸源氏 後号綱利	肥後熊本	○	54万	
	③	18 松平右衛門佐源光之	筑前福岡	×(○)	52万3000
		19 松平安藝守源光晟	安芸広島	○	37万6500
		20 松平大膳太夫大江綱廣	長門萩	○	36万9400
		21 松平丹後守藤原光茂	肥前佐賀	○	35万7000
		22 井伊玄蕃頭藤原直隆	近江彦根	○	30万
		23 松平新太郎源光政	備前岡山	○	31万
		24 松平相模守源光仲	因幡鳥取	○	32万
		25 藤堂大寺頭藤原高次	伊勢阿野津	○	32万3900
26 松平阿波守源光隆		阿波渭津	○	25万7000	
27 上杉播磨守藤原實勝		陸奥米沢	○	30万	
28 松平土佐守藤原忠義		土佐高知	○	20万2600	
④	29 佐竹修理大夫源義隆	出羽秋田	○窪田	20万5000	
	30 有馬松千代源氏 後諱頼利	筑後久留米	○	21万	
	31 森内記源長継	美作津山	○	18万6500	
	32 松平式部太輔源忠次	播磨姫路	○	15万	
	33 松平大和守源綱隆	越後村上	○	15万	
	34 本多内記藤原政勝	大和郡山	○	15万	
	35 松平下総守源清良	出羽山形	○	15万	
	36 松平隠岐守源定長	伊予松山	○	15万	
	37 小笠原右近將監源忠直	豊前小倉	○	15万	
	⑤	38 酒井左衛門尉源忠治	出羽庄内	○鶴岡	14万
39 酒井雅楽頭源忠清		上野前橋	○	11万	
40 酒井修理大夫源忠直		若狭小浜	○	12万3000	
41 阿部伊予守安倍利重		武蔵岩付	○	11万4000	
42 立花左近將監源直茂		筑後柳川	○	10万9600	
43 本多能登守藤原忠義		陸奥白河	○	13万5000	
44 奥平美作守平忠昌		下野宇都宮	○	11万	
⑥		45 松平越中守源定重	伊勢桑名	×(○)	11万
		46 丹羽左京大夫藤原光重	陸奥二本松	○	10万700
		47 南部山城守源重直	陸奥長岡	×	10万
	48 戸田采女正藤原氏信	美濃大垣	○	10万	
	49 土井大炊頭源利重	武蔵古河(下野古河)	×→下総にあり	10万	
	50 水野日向守源勝貞	備後福山	○	10万	
	51 松平淡路守菅原利次	越中富山	×	10万	
	52 堀田上野介紀正信	下総佐倉	○	12万	
	53 永井信濃守大江尚政	山城淀	○	10万	
	54 京極丹波守源高国	丹後宮津	○	11万3000	
55 真田右衛門尉滋野信房	信濃松代	○	10万		
⑦	56 稲葉美濃守越智正則	相模小田原	○	7万5000(9万5000)	
	57 小笠原信濃守源長次	豊前中津	○	8万	
	58 大久保加賀守藤原秀任	肥前唐津	○	8万3000	
	59 阿部豊後守安倍忠秋	武蔵忍	○	7万(8万5000)	
	60 中川山城守源久清	豊後武田	○	7万4000	
	61 松平伊豆守源信綱	武蔵川越	○	7万5000	

62 牧野飛騨守源忠成	越後長岡	○	7万4000	
⑧	63 本多下総守藤原俊次	近江膳所	○	7万
	64 伊達大膳太夫藤原宗利	伊予宇和島	○	7万(10万)
	65 水野出羽守源忠胤	信濃松本	○	7万
	66 松平丹波守源光重	信濃加納	○	7万
	67 内藤帯刀藤原忠興	陸奥岩城	×	7万
	68 松平飛騨守菅原利明	加賀大聖寺	○	7万
	⑨	69 戸澤能登守源忠茂	出羽新庄	○
70 松平山城守源忠国		播磨明石	○	6万5000
71 松浦肥前守源鎮信		肥前平戸	○	6万2200(6万3200)
72 安藤対馬守源重貞		上野高崎	○	6万
73 相馬長門守勝胤		陸奥中村	○	6万
74 加藤出羽守藤原泰真		伊予大洲	○	6万
75 岡部美濃守藤原宣勝		和泉岸和田	○	6万
76 仙石越前守藤原政俊		信濃上田	○	6万
77 浅野内匠頭源直直		播磨赤穂	○	5万3000
78 脇坂中務少輔藤原安吉		信濃飯田	○	5万3000
79 有馬左衛門佐藤原康純		日向縣	×(○)	5万3000
80 伊藤大和守藤原祐久	日向飫肥	×(○)	5万1000	
81 稲葉能登守越智信通	豊後臼杵	×	5万600	
82 松平周防守源康政	石見浜田	○	5万	
83 京極百助近江源氏佐々木	讃岐丸亀	○	6万	
⑩	84 井上河内守源正利	常陸笠間	○	5万
	85 浅野因幡守源長治	備後三好	○	5万
	86 松平若狭守源康信	丹波笹山	○	5万
	87 本多越前守藤原利長	遠江横須賀	○	5万
	88 秋田安房安倍盛季	陸奥三春	○	5万
	89 水野将監源忠喜	三河岡崎	○	5万
	90 石川主殿頭源昌勝	伊勢龜山	○	5万
	91 小出大和守藤原吉英	但馬出石	○	5万
	92 青山因幡守菅原宗俊	伊予小渚(大坂城代)	×	5万
	93 内藤豊前守藤原信照	陸奥棚倉	○	5万
94 溝口出雲守源宣直	越後新発田	×	5万	
95 松平丹波守藤原直富	越前大野	○	5万	
⑪	96 松平和泉守源乘久	上野館林	○	5万5000
	97 板倉阿波守源重郷	下総関宿	○	5万
	98 青山大膳亮菅原幸利	摂津尼崎	○	4万8000
	99 松平主殿頭源忠房	丹波福知山	○	4万5900
	100 津輕越中守藤原信政	陸奥弘前	○(津輕)	4万2000
	101 龜井能登守源茲政	石見津和野	○	4万3000
	102 本多飛騨守藤原玄昭	越前丸岡	○	4万3600
	103 高力左近太夫平隆信	肥前島原	○	4万
	104 松平遠江守源忠樹	信濃飯山	○	4万8000(4万)
	105 水谷伊勢守藤原勝隆	備中松山	○	4万
106 小笠原老岐守源忠知	三河吉田	○	4万	
⑫	107 松平伊賀守源忠勝	丹波龜山	○	3万8000
	180 金森長門守藤原頼宣	飛騨高山	○	3万8000(3万8800)
	109 永井日向守大江直清	摂津高槻	○	3万6000
	110 井伊兵部少輔藤原直之	遠江掛川	×	3万5000
	111 内藤飛騨守藤原忠種	伊勢鳥羽	○	3万5200
	112 九鬼孫次郎藤原後号隆昌	摂津三田	○	3万6000
	113 太田備中守源資宗	遠江浜松	○	3万6000
114 鳥井主膳正平忠春	信濃高遠	○	3万2000	
115 諏訪因幡守源忠直	信濃諏訪	○	3万2000	
116 松平市正源直次	豊後木規	×	3万2000	
117 牧野佐渡守源親成	京都二条城		3万3600	
⑬	118 松平美作守源定房	伊予今治	○	3万
	119 真田伊賀守滋野氏信	上野沼田	○	3万
	120 松平備後守源恒元	播磨宍粟	○	3万9000(3万)
	121 秋月佐渡守大蔵種信	日向財部	○	3万
	122 堀丹波守藤原直吉	越後村松(村本)	×	3万

【表四】

	聖賢堂→池田	養賢堂→東北教養	養賢堂→対馬	養賢堂→興譲館A	養賢堂→行野
		なし→所付	なし→国法 高付→下 なし→所付 御当家→御當代 今高…古高…→古高…今高		
山城			大國→なし		
大和			土地→土所 田島多→なし		
河内			古高242800石→242000石		
和泉	なし→寺社方		八木ノ直段→拂 其外入相→なし 上々之土地→土所上 米穀→なし 高…古今同→古高	今高138790石→128790石	
摂津				山→なし 古今同→なし	
伊賀					
伊勢	なし→桑名	土地、生物万吉→生物万吉、土地上	生物万吉→生物吉 桑名…御蔵入并紀州領寺社有→寺社領 御蔵入桑名…		
志摩		古高、今高→なし	小国→なし 山海之類生物多→山海ノ生物多	東北西海又山有山海之類→東北有海又山 海山ノ類	
尾張			田島多→なし	田島多→田多 寺社方→寺社領	
三河	土地上々→土地上也		土地中之上→土所中ノ上 田多→なし 土地→土所		
遠江		入相甚多→入相多			
駿河			なし→海 土地上也→上々 乃生物早ノ吉→生物吉ノ早 小国→なし	今高172000石→102000石	
甲斐			生物品多、サトモ田島少→なし		
伊豆		古高69820石→69830石	古高69820石→69830石	古高69820石→69830石	古高69820石→69830石
相模			古高194200石→1942004石	御蔵入小田原領…→なし 一武蔵…今高800000石余→なし	
武蔵					
安房					
上総			高378890石→古高378890石、今高右卜同		
下総		寺社方少→寺社方			
常陸			河越領古河領→河越領并其外 凡四方之國也→四方之大國也 國ノ中湖水也→中湖水也 大上之國也→上國也 御蔵入→御蔵入多 其外入相甚多→なし		大上之國也→大上々國也
近江		大上之國也→大上々國 御蔵入彦根膳所領公家寺社方→公家寺社 方御蔵入…	曲タル國→なし 大垣八幡高洲味田名護屋付→大垣名古屋 付八幡…		
美濃		山川田島共ニ多→山川多			
飛騨			名護屋領→なし	諏訪→諏	
信濃		其外御蔵入→其外寺社御蔵入	東西遠南北近、中ノ土地也、山川田島多、 生物不吉→なし		
上野			田島多、生物吉→生物吉、島多		
下野					
陸奥		山海川有→山海山川有 盛→盛岡			
出羽			西海有→海有 小濱領→巻小濱領也	※北陸道七ヶ國→なし	
若狭		又悪キニモ→大悪キニモ	東西少遠南北近→東西少遠 西北海南ニ 山川多→西北ニ山川多 中ノ上土地吉→中也土地吉 小濱付→なし	生物不吉→なし	
越前					

